

事務事業評価表 平成25年度

政策 明日につながる産業の振興
 施策 就業環境の整備
 基本事業 就業機会の確保

事業名 **緊急雇用創出事業 (小規模作業所等製品PR事業)**

[1010]

部名	健康福祉部	事業開始年度	平成24年度	実施計画事業認定	非対象
課名	福祉課	事業終了年度	平成24年度	会計区分	一般会計

事務事業の目的と成果	
対象	(誰、何に対して事業を行うのか) 市民
意図	(この事業によって対象をどのような状態にしたいのか) この事業により市内の雇用を創出する。
	(事務事業の内容、やり方、手段) 小規模作業所等で働く障がい者の作業能力や活動内容を周知するため、製品等のPRを行う担当員として失業者を雇用する。
	手段

事業量・コスト指標の推移						
区分		単位	22年度実績	23年度実績	24年度実績	25年度当初
対象指標1	市民	人			121,385	0
対象指標2						
活動指標1	委託金額	千円			3,500	0
活動指標2						
成果指標1	雇用者数	人			2	0
成果指標2						
単位コスト指標						
事業費計 (A)		千円	0	0	3,500	0
正職員人件費 (B)		千円	0	0	3,206	0
総事業費 (A) + (B)		千円	0	0	6,706	0

費用内訳	
24年度	委託料 3,500千円

事業を取り巻く環境変化

事業開始 背景		事業を 取り巻く 環境変化	
------------	--	---------------------	--

24年度の実績による事業課の評価（7月時点）

(1)税金を使って達成する目的（対象と意図）ですか？市の役割や守備範囲にあった目的ですか？

義務的事務事業

妥当である

妥当性が低い

理由
・
根拠は？

現下の雇用失業情勢が厳しい局面にある中で、地域の安定的な雇用機会の創出を図ることが目的であるため。

(2)上位の基本事業への貢献度は大きいですか？

貢献度大きい

貢献度ふつう

貢献度小さい

基礎的事務事業

理由
・
根拠は？

この事業の実施により、失業者の雇用創出につながる。

(3)計画どおりに成果はあがっていますか？計画どおりに成果がでていない理由、でていない理由は何ですか？

あがっている

どちらかといえばあがっている

あがらない

理由
・
根拠は？

失業者を2名雇用することができた。

(4)成果が向上する余地（可能性）は、ありますか？その理由は何ですか？

成果向上余地 大

成果向上余地 中

成果向上余地 小・なし

理由
・
根拠は？

相当の人件費を要するため。

(5)現状の成果を落とさずにコスト（予算＋所要時間）を削減する新たな方法はありませんか？（受益者負担含む）

ある

ない

理由
・
根拠は？

失業者雇用にかかる事業の実施であり、予算のほとんどがその人件費であるため。